

## 介護職員初任者研修シラバス

科目	時間数	項目	学習内容	科目別特徴	使用する機器・備品等・指導体制
1.職務の理解	6	(1)多様なサービスの理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護職員初任者研修の狙いと目標を知る</li> <li>・介護保険における介護サービスの概要を知る</li> </ul>	どのような介護職になりたいか目標を立てる。介護サービスについてグループワークを行い、発表する。	パソコン プロジェクター マーカー 模造紙  講師1名
		(2)介護職の仕事内容や働く現場の理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護業務の本質を理解する</li> </ul>		
2.介護における尊厳の保持・自立支援	9	(1)人権と尊厳を支える介護	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノーマライゼーション、QOL、虐待について理解する</li> <li>・ICFの考え方と意義を学ぶ</li> </ul>	事例や視覚教材(DVD等)を通してICF、尊厳、不適切ケアを考え、介護や支援のあり方を考える。	パソコン プロジェクター  講師1名
		(2)自立に向けた介護	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立と自律の違いを知る</li> <li>・自立支援の意義を理解する</li> <li>・介護予防について理解する</li> </ul>	事例を通して、どのような支援方法が自立につながるのか学ぶ。	パソコン プロジェクター  講師1名
3.介護の基本	6	(1)介護職の役割、専門性と多職種との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護サービスの3種類の内容や特性を理解する</li> <li>・介護に関わる職種と役割を理解する</li> <li>・医療と介護の連携について知る</li> <li>・身体介護・生活援助・生活支援について理解する</li> </ul>	介護サービスに関わる専門職を考え、多職種連携について学ぶ。	パソコン プロジェクター マーカー 模造紙 手袋  講師1名
		(2)介護職の職業倫理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護職としての職業倫理を理解する</li> </ul>	事例を通して、専門職の倫理・対応方法に関して学ぶ。	
		(3)介護における安全の確保とリスクマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護サービスにおける事故の理解</li> <li>・リスクマネジメント・感染に対する基本を理解する</li> </ul>	事故はなぜ起こるのか要因を考え、KYTトレーニングを行う。	
		(4)介護職の安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・腰痛予防の意義と方法を理解する</li> <li>・労働基準法を知る</li> </ul>	感染症対策を踏まえ、手洗いや手袋の着脱方法を行う。健康管理について考え、グループワークを行い、発表する。	
4.介護・福祉サービスの理解と医療との連携	9	(1)介護保険制度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険制度の歴史と意義を理解する</li> <li>・介護保険のしくみを理解する</li> <li>・ケアマネジメントの意義を理解する</li> </ul>	制度の目的、サービス利用の流れ、各専門職の役割・責務について学ぶ。	パソコン プロジェクター  講師1名
		(2)医療との連携とリハビリテーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リハビリテーションの理念と目的を知る</li> <li>・医療と介護の連携について知る</li> <li>・医行為と介護、訪問介護について</li> </ul>		
		(3)障害者自立支援制度及びその他制度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者福祉制度の理念を知る</li> <li>・障害者自立支援制度の仕組みの基礎的理解をする</li> <li>・個人の権利を守る制度の概要を知る</li> </ul>		
5.介護におけるコミュニケーション技術	6	(1)介護におけるコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションの目的と意義を理解する</li> <li>・利用者の状況に応じたコミュニケーション技術を習得する(失語症、視覚障がい者、聴覚障がい者、認知症)</li> </ul>	受容・共感・傾聴などのロールプレイを行い、利用者の思いを考えるコミュニケーションについて学ぶ。	パソコン プロジェクター  講師1名
		(2)介護におけるチームのコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報告、連絡、相談の意義と方法を知る</li> <li>・記録の重要性の理解と方法を知る</li> </ul>	記録方法(5W1H)をワークにて行う。	



9. ところからのしくみと生活支援技術	75	(5) 快適な住居環境整備と介護	・快適な住居環境に関する基礎知識、高齢者・障害者特有の居住環境と福祉用具に関する留意点と支援方法について学ぶ	福祉用具を体験し、事例の間取り図をもとに改修が必要なところを検討し、環境整備について理解を深める。	パソコン プロジェクター マーカー 車椅子  講師1名または2名
		(6) 整容に関連したところからのしくみと自立に向けた介護	・整容に関する基礎知識、整容の支援技術(身体状況に合わせた衣服の選択、着脱、身じたく、整容行動、洗面の意義・効果)について学ぶ	[演習] 衣服着脱について体験を行い、片麻痺がある場合の着脱について演習・評価を行う。  爪切り、整髪について演習を行う。	パソコン プロジェクター 衣服(上衣:前開き、かぶり、下衣) 爪切り タオル  講師1名または2名
		(7) 移動・移乗に関連したところからのしくみと自立に向けた介護	・移動・移乗に関する基礎知識、さまざまな移動・移乗に関する用具とその活用方法、利用者、介助者にとって負担の少ない移動・移乗を阻害するところからの要因の理解と支援方法、移動と社会参加の留意点と支援について学ぶ	[演習] 擬似体験(杖歩行、車椅子、ガイドヘルプなど)を通して、利用者の気持ちの理解を深め、介助方法について学ぶ。  起き上がりから端座位の介助について演習・評価を行う。 端座位から車いすの移乗介助について演習・評価を行う。	パソコン プロジェクター ベッド 車椅子 シーツ 杖・多点杖 スライディングボード スライディングシート  講師1名または2名
		(8) 食事に関連したところからのしくみと自立に向けた介護	・食事に関する基礎知識、食事環境の整備・食事に関連した用具・食器の活用方法と食事形態とところからのしくみ、楽しい食事を阻害するところからの要因の理解と支援方法、食事と社会参加の留意点と支援	[演習] 食生活の個性についてグループワークを行う。 食事及びとろみ剤について体験を行う。 食事介助、口腔ケアの介助について演習・評価を行う。 口腔ケア(スポンジブラシ等)の体験を行う。	パソコン プロジェクター 食器類(箸、スプーンなど)・お盆 とろみ剤 食食用エプロン 歯ブラシ スポンジブラシ ガーグルベースン  講師1名または2名
		(9) 入浴・清潔保持に関連したところからのしくみと自立に向けた介護	・入浴、清潔保持に関連した基礎知識、さまざまな入浴用具と整容用具の活用方法、楽しい入浴を阻害する、ところからの要因の理解と支援方法を学ぶ	[演習] 手浴、足浴の介助について体験及び演習を行う。  浴槽への出入り及び立ち上がりについて演習・評価を行う。	パソコン プロジェクター バケツ、湯温計 タオル ゴム手袋 洗面器  講師1名または2名
		(10) 排泄に関連したところからのしくみと自立に向けた介護	・排泄に関する基礎知識、さまざまな排泄環境整備と排泄用具の活用方法、爽やかな排泄を阻害するところからの要因の理解と支援方法を学ぶ	[演習] おむつ等の吸収や手触りなどを体験する。 ポータブルトイレを使用した介助について演習・評価を行う。  おむつ交換の介助について演習・評価を行う。	パソコン プロジェクター ベッド、シーツ タオル おむつ類 新聞紙 ポータブルトイレ  講師1名または2名
		(11) 睡眠に関連したところからのしくみと自立に向けた介護	・睡眠に関する基礎知識、さまざまな睡眠環境と用具の活用方法、快い睡眠を阻害するところからの要因の理解と支援方法を学ぶ	[演習] ベッドメイキングについて演習・評価を行う。	パソコン プロジェクター ベッド、シーツ  講師1名または2名

9. こととからだのしくみと生活支援技術	75	(12) 死に行く人に関連したこととからだのしくみと終末期介護	・終末期に関する基礎知識とこととからだのしくみ、生から死への過程、「死」に向き合うことと理解、苦痛の少ない死への支援を学ぶ	終末期の症状、ターミナルケア時の利用者や家族への対応、役割などを学ぶ。	パソコン プロジェクター  講師1名または2名
		(13) 介護過程の基礎的理解	・介護過程の目的・意義・展開 ・介護過程とチームアプローチ	介護過程の展開をグループワークで行い、介護過程の必要性について理解を深める。	パソコン プロジェクター 模造紙 マーカー  講師1名または2名
		(14) 総合生活支援技術演習	・生活の各場面での介護について、ある状態像の利用者を想定し、一連の生活支援を提供する流れの理解と技術の習得、利用者の心身の状況にあわせた介護を提供する視点の習得を目指す	[演習] 事例を元に、グループワークにて介護計画を立案・計画に基づく援助について理解を深める。 個々に応じた適切な援助方法について演習・評価を行う。	パソコン プロジェクター ベッド、シーツ 車椅子  講師1名または2名
10. 振り返り	4	(1) 振り返り	・研修を通して学んだことについての再確認 ・今後継続して学ぶべきこと ・根拠に基づく介護についての要点(利用者の状態像に応じた介護と介護過程、身体・心理・社会面を総合的に理解するための知識の重要性、チームアプローチの重要性等)	研修全体を振り返り、当初のイメージや目標を再確認する。	パソコン プロジェクター  講師1名
		(2) 就業への備えと研修修了後における継続的な研修	・継続的に学ぶべきこと ・研修修了後における継続的な研修について、具体的にイメージできるような事業所等における事例を知る(Off-JT, OJT)		
	1	修了評価	筆記試験実施(1時間)	70点以上を合格とし、不合格者には再試験実施	研修センター